

# 北っ子 敷島北小学校だより

令和5年12月22日 文責 学校長 増坪広夫

## よいお年をお迎えください

学校行事が最も多かった2学期が終わりました。いよいよ冬休みに入ります。

子供たちの中には冬休みは「寒くて勉強ができないから」と考えている子もいるようですが、冬休みがこの時期にあるのは人間の歴史と深い関係があるように思います。人間は長い歴史の中で様々な文化を創り出してきました。暮れや正月にもそうした文化があります。学校では到底経験できないような大切なものがあるから学校から子供たちを地域に返して冬休みとして生活させるのです。

そんなことから「暮れの忙しさと正月の楽しさ」を、この冬休みで十分に味わわせたいものです。

ゲームやごろ寝でのテレビ三昧ではこうした文化を受け継ぐことはできません。来年度への新しいステップとして良い経験が積める冬休みであって欲しいと思います。敷島北小学校の職員も年末年始でしっかりと心と身体の充電をいたします。どのご家庭も、よい年末年始をお迎えください。



## 心が変わると運命が変わる

よく「1年の計は元旦にあり」といいます。1年の最初の日にどんなことを願うのでしょうか。

これは2学期の終業式で子供たちに伝えたものです。

「アメリカの心理学者ウィリアム・ジェームズの言葉」で、簡単に言うと「心の持ちようで人生が変わる」というものです。私が学生だったころ、廊下やトイレに貼ってあったような気がします。

「思考は現実化する」とはいいますが、考えたり願ったりするだけではなかなか未来は変わらず、行動をおこさないと物事はよい方向へ進まないような気がします。

**「したい人 10000人 始める人 100人 続ける人 1人」**

こんな統計データもあるようです。

**心**が変われば**行動**が変わる。  
**行動**が変われば**習慣**が変わる。  
**習慣**が変われば**人格**が変わる。  
**人格**が変われば**運命**が変わる。

## 冬休みの過ごし方

冬休み中は保護者の仕事の関係で子供だけで過ごす家庭もあるかと思いますが、「自転車の乗り方」や「友達との遊び」の内容について、よくよく話し合っておいてください。「口うるさいなあ」と子供から思われても、ひるむことなく親の考えをいい意味で押しつけて欲しいと思います。命の大切さは何度も繰り返し語っても、決してすり減ってしまうようなものではないはず。「交通事故に遭わない」「病気にかからない」「犯罪に巻き込まれない」など、子供たちには「自分の命を自分で守る力」をしっかりと身につけて欲しいものです。

# ものの見方を変える

お正月の行事の一つに初詣があります。その楽しみの一つにおみくじがあります。きっと多くの方が「大吉」がでることを願っていると思います。以前、私は「凶」がでてかなりへこみました。



その時、お寺の関係者に聞いた話ですが、おみくじは先の運勢を占うものではなく、神様が現時点での運勢を判断するものらしいです。だから、たとえ「凶」が出ても「これ以上は悪くなることはない」「これから上がる一方だ」と考えることができるそうです。逆に「大吉」は「今が一番運気は高いが、これ以上はいいことはおこらない」「自分を戒めないと、あとは下がる一方だ」とも考えられるそうです。本来、「凶」が出る割合は3割くらいだそうです。あまり多いと参拝者が減るため場所によっては少なくしているところも多いようです。

浅草の浅草寺は、平安時代から続く京都の比叡山延暦寺と同じように比率を守っていて100本中30本が「凶」だそうです。いつの時代も「プラス思考」が大事なことなのかもしれません。

## 個別懇談ありがとうございました

短い時間でしたが個別懇談ではお子さんのこれまでの成長やこれからの目標等について、担任と対話が十分できたでしょうか。よく懇談で話題に上がるのが教育の分担です。明確に区分けできない部分もありますが「学校教育」「家庭教育」「社会教育」に大別されます。基本的な生活習慣、食に関すること、金銭に関すること、自転車の乗り方等は、家庭教育にその多くを委ねることとなります。こうしたことに関しては、今後も学校から遠慮なくお願いをしていきます。もちろん地域やご家庭との連携や協働に関する部分などは遠慮なく学校へご相談ください。



## 心に響いた音楽発表会

コロナ禍では様々な場面で音楽活動も制限され、これまで何か物足りない感じがしていた朝の時間ですが、現在は教室から子供たちの歌声が聞かれるようになりました。朝、教室を巡回すると、あらためて歌声の素晴らしさを感じます。「学校らしさ」というか、長い習慣からでしょうか「朝の会と言えば元気な歌声」が定番だったように思います。

そんな中、12月19日（金）に延期された「音楽発表会」が無事開催されましたが、参観された保護者や地域の方から子どもたちの演奏や合唱に絶賛の言葉をいただき大変嬉しく思いました。途中、サプライズで職員のバンド演奏を入れさせていただきましたが、子どもたちも保護者の方も驚かれたことと思いま



す。「先生たちもチャレンジしている」というメッセージを伝えたくて校長の思いつきで始めたバンドでしたが、たくさんの方から賞賛の声をいただきました。拙い演奏でしたが、最後の全校合唱がそれに答えるように練習したときより大きな声に聞こえたのは気のせいでしょうか。

大きな学校行事を終えると子供たちは大きく成長します。この「音楽発表会」も成長のきっかけとなる一つです。発表会で各学年の子供たちが活躍する姿を見て、学年または全校が一つの目標に向かって一致団結することによる教育的効果は計り知れないものがあるように感じました。